夜の鼓（1958）

メディア 映画
ジャンル 時代劇
製作国 日本
色彩 B&W
時間 95分
初公開日 1958/04/15
公開情報 松竹

【解説】
近松門左衛門の世話物『堀川波鼓』を、橋本忍と新藤兼人が翻案し脚色、今井正が監督した文芸時代劇。
鳥取藩の小倉彦九郎が一年二ヶ月の参勤交代の後、江戸での加増を得て帰国する。国許で待つ妻お種のもとへ急いで帰った彦九郎だったが、家中では妻と源右衛門との不義密通が噂となっていた。源右衛門は鼓の師匠であり、かねてからお種に横恋慕していた。彦九郎はお種を激しく問い詰めるが、彼女は噂をきっぱり否定。しかし噂は収まらず、彦九郎が噂の出所とされる同僚の磯部に確認すると、彼は源右衛門と不義をしていたお種を見たと証言する。再びお種に話を聞くと、彼女はようやく真相を語り始めた。刃物を持った磯部に関係を迫られた彼女は、その場を助けてくれた彦九郎と酒の勢いで関係を持ってしまったのだった。

【クレジット】
監督 今井正
製作 山田典吾
原作 近松門左衛門
脚本 橋本忍 Shinobu Hashimoto
新藤兼人
撮影 中尾駿一郎 Shunichiro Nakao
美術 水谷浩
音楽 伊福部昭
出演 三国連太郎
有馬稲子
森雅之
中村万之助
雪代敬子

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.